

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月26日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊万里市	代表者名	深浦 弘信
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0955-23-4313
担当者役職	係長	担当者氏名	田中 隆太
住所	848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DXについて、今後の方針を決定するにあたり助言をいただいた。先進事例など、多くの事例の紹介があった。
アドバイザーへの要望事項	協議を進める中で、今後の具体的な事業内容などにも協議が進められればと考えている。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年12月23日	15時00分	17時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	伊万里市役所	最寄駅	JR伊万里駅	
	所在地	佐賀県伊万里市立花町1355-1	最寄駅からの交通手段	バス	
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	伊万里市がめざすDXの姿をどうするのか。また、その推進体制をどうするのか。具体的な事業内容はこういったものがあるか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市民がメリットを実感できるDXの推進。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DXの推進はデジタル化を進めることではないとの指摘の中で、広報に力を入れることを説明された。助言の中で、早急にDXの推進体制を作るべきとのことであった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	助言により、まず当月中にワーキンググループを庁内に設置した。ワーキンググループにより、新年度以降のDXの推進に向けて協議を進めることとした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今後のDXの推進について具体的な方針の作成について、今回の協議内容を踏まえ協議を深める必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 方針の決定に向けた支援であり、第1回目の協議の対象が限られた職員であるためアンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	市のDX推進方針、目標等の制定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

